

事例からみる カーボンニュートラル推進の最新動向

【構成】

- 1.調査内容について
- 2.企業におけるカーボンニュートラル推進の全体像
- 3.ヒアリング事例の整理(例示)

2025 3/4



1.調査内容について：前提

【背景】

- 省エネルギーを推進することは、エネルギー使用量の削減だけでなく、CO2排出量の削減にも寄与することから、カーボンニュートラルに向けた取組としてより経営的な価値が高まっている。
- 省エネ活動を経営的視点から見つめ直し、企業価値向上に寄与する取組として捉え、マインドチェンジが必要。



【調査の目的】

カーボンニュートラルに向けた取組で一定の効果を得ている企業の取組内容を把握し、中堅・中小企業等がそのポイントを理解・応用できるよう整理する。

1.調査内容について：事例のポイント整理の視点

地域の中小企業が知りたいCN推進に向けた取組ポイントを整理する上で、下記の点に着目。

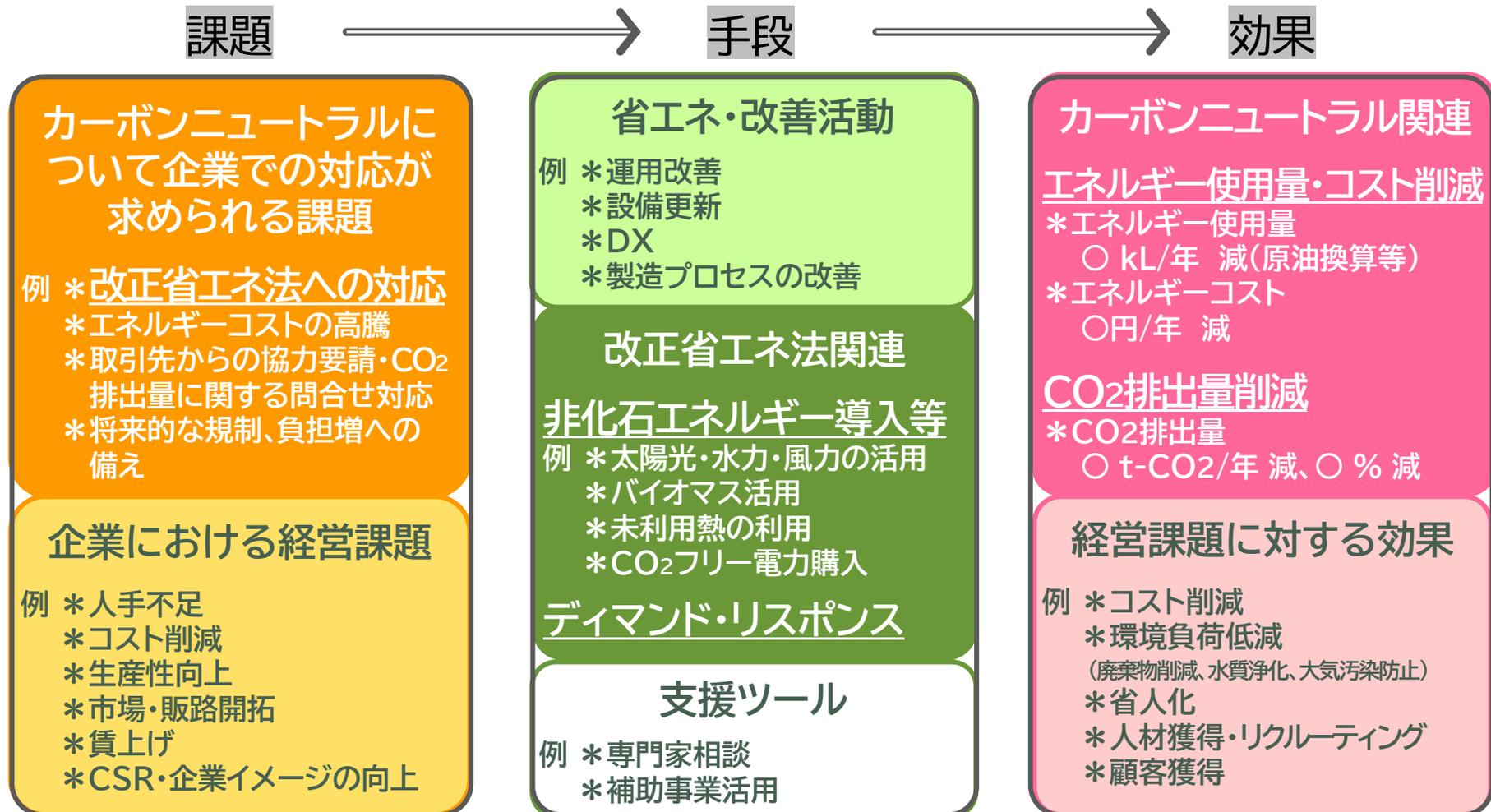
「取組を実行するには、**その背景にある【企業課題】**に気づいた上で、**その解決手段を展開していく**ことがとても重要」

「省エネ効果やCN実現に止まらない、**企業経営への好循環をもたらす効果**がある」

「**リクルーティングにCNを含む環境活動が有効に働く。**実践企業はその点を意識して情報発信している」

2. 企業におけるカーボンニュートラル推進の全体像

CN実現に向けて様々な手段を講じることで、
企業における経営課題を解決するなど好循環を得ている。



3. ヒアリング事例の整理(例示)

テックワン株式会社(石川県能美市)

合繊織物染色整理加工、透湿防水フィルムの製造等



- 東日本大震災以降、隣接する大企業の工場から蒸気エネルギーを安価に購入。当初目的はコスト削減だが、省エネにつながる。現在も単価を協議しつつ実施。
- 2年前より省エネ診断、省エネIoT診断(画像診断)を受診。結果を受けて、蒸気配管やスチームトラップの改善により省エネ効果を得る。
- 太陽光パネルを設置し、自家使用。既存設備の未使用・撤去等によりディマンドを下げることに成功し、2025年から北陸電力と必要時に協力する契約を実施。
- 精練機の排水の熱利用を目的に、熱交換器を設備更新。メンテナンス性向上、省エネに高い効果があった。石川県省エネ再エネ補助金を活用し、2年で減価償却。

【取組のきっかけ】

「海外における環境関連のアプリル監査*が厳しくなってきた(2018年頃)。省エネはコスト削減にもなるので、経営への影響がとても大きい。私たちの業界は、技術開発、イコール、環境負荷低減効果をもたらす技術、と言っても過言ではない。様々な技術開発等に取り組んできたからこそ、海外でもネームバリューを有する企業となっていると自負している」

*ZDHC (Zero Discharge of Hazardous Chemicals。繊維・皮革産業において有害物質の排出をゼロにするために活動する非営利団体) ※近年ではPFAS[有機フッ素化合物]への関心が国内でも高まっている

3. ヒアリング事例の整理(例示)

カーボンニュートラルの取組を通じて、企業における経営課題に対して様々な効果がもたらされている。



3. ヒアリング事例の整理(例示)

経営課題に対する効果(例示)	具体例
エネルギーコスト削減	コンプレッサーのループ化、配管バルブの取り付けによるエア漏れ防止対応等により、年間で約5万トンのCO ₂ 排出量削減が実現。25万円分のエネルギーコスト削減も実現した。
省人化	県の省エネ関連補助金を活用し、マシニングセンタの更新を実施。製品1つにかかる加工時間を約4割削減できるようになったことで、省エネだけでなく、人件費及び外注加工費の削減に繋がった。
人材獲得・リクルーティング	カーボンニュートラル実現につながる活動を対外的にPRしたことで、環境意識の高い学生や若手人材から多くの求人応募を受領。また、取り組んでいる自社の活動を具体的に伝えることができた。
顧客獲得	プレスリリースやHPによって当社の取組をご覧になった大手メーカーから、「環境配慮型経営をされている業者とお付き合いがしたい」と、仕事を任せさせていただくようになった。
労働環境改善	社員から執務空間の暗さを指摘されたのを受けて、市の脱炭素関連の補助金を活用し、蛍光灯をLED化。エネルギーコスト削減のみならず、工場内が明るくなり、作業効率アップに寄与した。



省エネ、CN実現に向けた活動を通じて、
企業には様々な効果がもたらされていることを確認

ご清聴ありがとうございました。

2025 3/4

